

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R5	小5	社会	02_2_社会科 学習指導案 (小学校).pdf	授業構想力	○学習の中での資料について、児童自身が望む資料を選択し、自分の仮説を裏付けるものとして使用しようとしていた。	資料として用いたグラフや表の内容が説明的で簡略化されたものを取り扱い、児童が選択していくやすいようにした。
R4	小5	算数	⑨小学校指導 案(算数・数学科).pdf	授業構想力	○重なる図形を見ながら面積を求めることができないかという問い合わせに対して協働性を働かせて考えることができた。	様々な图形が見えるように图形の提示の仕方にこだわることで子どもの導き出したいという意欲を高めることができた。
R5	中2	数学	03_3_数学科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○新しい图形の性質を見い出す姿	ICTによって图形を自由に移動変形できるよう設定した。
R5	小1	生活	05_生活科 学習指導案.pdf	授業構想力	○「たんけんメモ」に、探検した場所で見付けたことや気付いたこと、先生やお兄さん、お姉さんにインタビューして分かったことなどを、絵と言葉で簡単に表現していく姿が見られた。	「たんけんメモ」を活用した。大きさがワークシートよりも小さいため、かく内容が自然と狭まり、より多くのものや気付きを見付けることができるようとした。
R6	小2	生活	05_1_生活科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○インタビューをしたお店や施設の位置感覚を味わいながら楽しんで活動している姿が見られた。 (実際に距離のあるお店からお店へ移動していた児童は「遠かった。疲れた。」と言っていた)	ジョイントマット（お店や施設）や平均台（陸橋）などを使って、体育館の半面に調べた通学路を表現した。
R6	小2	生活	05_1_生活科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○「たんけんメモ」を使って、分かったことや気付いたことなどを友達に積極的に伝えることができていた。「たんけんカード」の絵を指し示しながら、伝えるだけでなく、質問に丁寧に答えている姿も見られた。	昨年の学校探検の单元でも活用した「たんけんメモ」の大きさを2倍にした。ジョイントマットの上に、「たんけんメモ」に描いた絵を表にして置くことで、絵を見せながら、相手に分かりやすく伝えることができるようとした。（絵の裏面には、その絵に関することが短い言葉で書くようにした）
R5	複高	音楽	06_1_音楽科 学習指導案 (小学校).pdf	授業構想力	○アンクルンとハンドベルとを聞き比べをしながら楽器の構成の共通点を探す姿が見られた。	実際に2つの楽器の音を出しながら、楽器の特性を見つけたり、音色の特徴を味わったりする活動を設定した。
R5	複高	音楽	06_1_音楽科 学習指導案 (小学校).pdf	授業構想力	○竹素材同士の楽器を聞き比べ、音色の違いを聞き取る様子があった。	ICT機器を活用して、東南アジアと日本の様々な竹素材楽器の音色や演奏法を調べる活動を設定した。
R4	中3	美術	⑩中学校指導 案(図画工 作・美術 科).pdf	授業構想力	○制作の手順をタブレットで確かめながら主体的に制作に取り組むことができていた。	資料として制作のポイントを写真で説明するスライドを配付し、生徒がいつでも見ることができるよう準備した。
R4	中3	美術	⑩中学校指導 案(図画工 作・美術 科).pdf	授業構想力	●限られた素材の中でつくることで、制作が制限されてしまう。	限られた素材で計画的に制作する力をつけたいと考えたが、生徒のアイデアを形にするための手立てを考えることも必要であった。
R4	複低	図工	⑪小学校指導 案(図画工 作・美術 科).pdf	授業構想力	○目の見えない方に伝わるように、「知っているような言葉にして話した」、「ここ・これ（指示語）等を使わなくても伝えやすいように、手をもって場所を教えた」と、工夫したことを持げていた。	先天盲の方と絵画鑑賞を楽しむために、慣れ親しんできた見方を変えてみようと試行錯誤することができる環境を設定した。
R5	小6	図工	日時平成25 年11月30日 (土)	授業構想力	○個々がタブレットのアプリ(i-movie)を自由に使って自分なりのbeautiful&emotionalを求めて試行錯誤を繰り返すことができていた。	十分に試行錯誤できるような学習環境の整備と時間の保障に努める。
R6	中1	美術	07_2_美術科 学習指導 案.pdf	授業構想力	○試行錯誤を繰り返し、個々の表現を楽しんでいた。	粘土の量や道具の種類を工夫して準備し、生徒がさまざまな方法を試せるような環境をつくった。
R4	小1	保育	②小学校指導 案(体育・保 健体育 科).pdf	授業構想力	○コートをいっぱいに動き回り、チーム内で声を掛け合いながら、一生懸命ゲームに取り組んでいた。	ちょうどよいコートの広さの中で、2人ずつ入り、必ず触球して返球するルールを設定した。
R5	中3	保育	08_3_保健体 育科学習指導 案(中学 校).pdf	授業構想力	○ゲーム中に、どの児童もボールをキャッチしようと意欲的に取り組んでいた。	児童の発達段階に丁度よいコートの広さや恐怖心を払拭したボールの選定を行う。
R5	養高	特別支援		授業構想力	○他教科の授業も、児童が自分で内容や順番を決めて進行しようとしていた。	児童の興味関心に基づいた授業展開や、児童が主体となって活動できる環境を設定した。

R4	中3	社会	⑦中学校指導案(社会科).pdf	授業実践力	○他クラスの生徒が考えた1ドル何円が理想かの資料を見ながら、自分の考えを持つことができた。	他クラスの生徒のワークシートを資料として用意することで、多様な考えがあるということを生徒に示した。
R4	中3	社会	⑦中学校指導案(社会科).pdf	授業実践力	○生徒同士で黒板に意見を貼り合うことでお互いの意見を可視化することができていた。	黒板に「高」「低」とだけ書き、生徒が自由に自分の意見を貼ることができるように工夫した。
R5	小5	社会	02_2_社会科学習指導案(小学校).pdf	授業実践力	○仮説を立てて考えていく過程で、自分の考えを裏付ける資料を意欲的に探そうとする姿が見られ、児童同士の交流で思考の深まりが見られた。 ●資料内容の読み取り、選択の作業の多さに戸惑いを感じた児童が多く見られた。	情報化過多な社会をイメージし、仮想インターネットとして、あえて資料を多く示し、情報を選択する必要性を感じられるようにした。 活動が停滞した場面では、「資料」と「世界の出来事カード」から読み取れることをそれぞれ整理して示した。
R6	小2	生活	05_1_生活科学習指導案.pdf	授業実践力	○様々なお店や施設の「あんしんポイント」を見つけることができた。他のチームで見つけたしののめの町の「いいね」を交流する場では、児童の目の前に「たんけんメモ」がなくても、どのチーム（お店や施設）のどんなところが「あんしんポイント」だと思ったのかを伝えることができていた。	各チーム、事前に必ず伝えたいことを決めてまとめておいた。 赤白帽子を使って、伝える人は赤、聞く人は白にすることで、児童同士が声をかけ合うことができるようになした。 「あんしんポイント」は、必ず伝えるようにすることで、共通の視点をもって活動できるようにした。
R4	中1	音楽	Microsoft Word - R4研究会指導案音楽科 20221101提出用.docx	授業実践力	○グループのみで音が共有することができるため、他のグループの音に邪魔されることなく、自分たちのアンサンブルに集中して創作活動ができた。 ●タブレット端末で検討できる楽器の音色の種類が少なかった。	タブレット端末とヘッドホンを使い、グループで楽器の音を試しながら創作活動を行った。
R5	複高	音楽	06_1_音楽科学習指導案(小学校).pdf	授業実践力	○自分が演奏する箇所以外にも、友達が奏でている間、演奏を集中して聴く姿勢があった。	一つのまとまりのある曲になるように、集中して聴きながら演奏できるように、全員が見ることができるよう、一つの数字譜を共有できる手立てをとった。
R5	複高	音楽	06_1_音楽科学習指導案(小学校).pdf	授業実践力	○グループで話し合いをしながら、思いや考えを伝え合ったり、演奏を繰り返しながら、表現の工夫をすることことができた。	話し合いと演奏する時間に偏りがないように、言葉で伝え合ったあとすぐに演奏できる環境を設定した。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業実践力	●操作することに夢中（ならべること）でいろいろな並べるパターンを考える時間が足りなかった	制作時間の確保、時間への意識付けを行う。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業実践力	○生徒がしっかり考えて構想していた。早く進んでいる生徒も静かに待ったり教え合ったりして安心感のある穏やかな時間を過ごしていた。	教師の指示の言葉が少なかった。生徒と先生の信頼関係ができていた。
R6	複低	図工	07_1_図画工作科学習指導案.pdf	授業実践力	○子どもたちの発想が引き出されていた。	試行錯誤を促す道具や材料の準備・環境設定をした。
R6	複低	図工	07_1_図画工作科学習指導案.pdf	授業実践力	●聴覚と触覚を研ぎ澄ませる実践であったが、「集中」への意識が高められなかつたため、「見えないところ」への意識が薄くなってしまった。	ゲストティーチャーと子どもが接近する場所にいる環境下で音楽を流せば、吐息や服の衣擦れの音などに耳を澄ませるような集中力をもって、見えないところへの意識を高められたという反省を得た。
R4	中1	保育	@中学校指導案(体育・保健体育科).pdf	授業実践力	ICT機器を効果的に使用していた	ICT機器の扱い方の習得
R5	中3	保育	08_3_保健体育科学習指導案(中学校).pdf	授業実践力	○自分や仲間の動きを、グループ内でかかわりありながら振り返っていた	iPadの使用や、グループでの台数指定などでかかりあいややすい環境を作る
R5	中3	保育	08_3_保健体育科学習指導案(中学校).pdf	授業実践力	○課題発見に時間をかけることなくスムーズに確認ができ、探求する時間を多く確保できた。	視聴覚機器を用いて課題を提示することで、動的に児童一人一人が課題を把握できるようにする。

R4	中3	外国語	②中学校指導案（外国語活動・外国語科）.pdf	授業実践力	○テーマに基づいて正しい情報を伝えようとする姿が見られた。	正しい情報を伝えることができるよう、使える表現や型を、ICTを使って提示した。
R6	複中	外国語活動	11_1 外国語活動学習指導案.pdf	授業実践力	○英語の意味を理解しながら、英語の歌を楽しく歌っている。英語に対して親しみをもっている。	教師自身もロールモデルとして一緒に身体を動かしながら、歌う。
R4	複高	道徳	③小学校指導案（道徳科）.pdf.pdf	授業実践力	○授業の終末時のふり返りに価値の捉え直しをしている児童がいた。	付箋やホワイトボードを用いて意見交流を行った。
R4	養高	特別支援	⑦小学校指導案（特別支援）.pdf	授業実践力	○児童が進行する秋祭りに、低・中学年の児童も主体的に参加していた。	色分けマット、座る位置、数を数えるための教材など、構造化し、児童が見て分かる工夫をした。【主体的活動を促す手立て】
R5	中3	保健教育	13_2 保健教育学習指導案（中学校）.pdf	授業実践力	○授業後の感想に「一人一人違っていておもしろい」「自分のストロングポイントを全体のために使いたい」という記述が見られた。	他者理解を深めるために、肯定的な意見を出し共有するグループでの活動を設定し、授業後の学級活動でも安心感が持てるようにした。
R6	小3	道徳	12_1 道徳学習指導案.pdf	授業構想力	○「東雲家族」は、行事以外でもつながっていることが分かった。（ワークシート記述）	児童の意識をつなげるために、毎時間の振り返りを書く「単元シート」を作成した。